



群馬県立 伊勢崎高等学校

2027



伊勢崎高校は、次のようなスクール・ポリシーを掲げ、生徒の成長を促します。

グラデュエーション・ポリシー

卒業するまでにこのような力を身に付けます

「シン・探究人」 ～ Borderless Explorers ～

- ・ チャレンジし続ける力
- ・ 多様性を認め、共に社会を創造する力
- ・ 常識や既成概念にとらわれず、物事の本質を見極めようとする力

カリキュラム・ポリシー

このような学びの場を提供します

- 問う** 問いを立てる力を重視し、生徒が自ら考えを深める授業
- やりぬく** やり抜く力（GRIT）を高めるために、生徒が主体的に活動する授業や学校行事
- つなげる** 学校を飛び出し、外の世界とつながる活動

アドミッション・ポリシー

このような皆さんを待っています

- 何かに熱中したい人
- 真摯に学びに向き合いたい人
- 周囲と協力して頑張りたい人
- 一旗上げたい人

教育目標

『知性を磨き、品性を高め、情操を養い、
高き理想に向かって歩む』
創意と活力に満ちた教育活動を展開し、日本及び
国際社会で活躍できる能力と品性をもった、心身
共にたくましく、心豊かな生徒を育成する。

教育方針

目指す学校像
「地域の期待に応えられる学校づくりを推進する」

◆ 育むべき資質

- ① 主体性 ② 社会性 ③ 人間性 ④ 将来性 ⑤ 国際性

本校には、『グローバルコミュニケーション科』、『普通科』の魅力ある2つの学科があります。

入学時

入試は一括募集（くくり募集）

1年次

全クラス共通の教育課程で学習する

2年次

GC科

（グローバル
コミュニケーション科）

普通科

文型

普通科

理型

3年次

1年次では、広く文系・理系の科目を学び、進路ガイダンスや二者面談、三者面談を行い、2年次からの学科選択を丁寧に相談して決めていきます。

グローバルコミュニケーション科、普通科共に、国公立大学受験に対応し、複雑化する大学入試に対して、個々の希望に沿った学びができるようになっています。

自分で考えて、自分で決めて、自分で動き出す「シン・探究人」を育成します。

伊勢崎高校は、「自ら考え、判断し、行動できる、エージェンシーを発揮する自律した学習者」の育成を目指しています。その中核となるのが「探究活動」で、『学校を越えて、社会を五感で感じる』5つのプログラムを iTanQ と呼んでいます。全員が取り組む「総合的な探究の時間（蒼穹）」に加え、社会そのものを知るためのフィールドワーク「iTanQ スタディツアー」、現在、上野千鶴子東大名誉教授をアドバイザーとしている「iTanQ スクール」などが生徒の活動を後押ししています。

iTanQ 蒼穹（総合的な探究の時間）

1・2年次では、自分だけの「調べてもわからない問い」を立て、「調べなければわからない情報」を集め、「社会に小さなアクション」を起こします。3年次では、自らの進路を探究し、実現していきます。



iTanQ スタディツアー

「社会」そのものを知るために、「学校を越えて」フィールドワークを行います。探究活動の先進校や最先端の研究を行っている大学、課題を有する地域の場合など、県内外様々な場所をフィールドワークの対象とし、実際に自分の足、自分の目で社会の現場を見に行き、「五感」を研ぎ澄ませて社会を感じます。



iTanQの全体像



AGENCY DAY

生徒自らが日々を振り返り、自身の目標を立て、目標を達成するための行動を計画し実行する1日として、終日「家庭学習日」となるエージェンシーデーを実施しています。年間3回実施されるエージェンシーデーでは、生徒たちは学校に登校せず、各々が立てた計画をもとに、その日だからこそできるチャレンジを行っています。



国際的な視野をひろげたい

充実した『英語教育』と、国際的な人材を育てる授業・行事が行われています。

県内唯一のグローバルコミュニケーション科がある本校は、国際社会で活躍できる資質を身に付ける人材を育成します。複数のネイティブの先生から指導が受けられ、教室で学んだことを実践できる体験プログラムや海外との交流、資格取得など、実践的な英語運用能力を育むほか、第2外国語も学ぶことができます。



国を越えた交流事業

Global Classmates プログラムでアメリカの生徒と交流します。チャットやお土産交換、ディスカッション等を楽しみました。



オリジナルスピーチ

夏休みに準備して、授業でクラス内スピーチコンテストを実施します。優秀者は市や県のスピーチコンテストに参加します。



小学校訪問

小学校を訪問し、英語の授業を行います。英語を教える難しさを感じながら、小学生と一緒に英語を楽しむく学びます。



高大連携

大学の先生方にお越しいただいたり、時には大学を訪れたりして、英語や国際に関する授業を体験します。



東京研修

TOKYO GLOBAL GATEWAYにおいて、現実感のあるセットの中で、学んできた英語を実際に使うトレーニングを行います。JICA 地球ひろばではSDGsや各国の文化への理解を深めました。



海外高校生との交流



自分を磨き、輝きたい

本校には、多彩で活発な数多くの部活動があります。

運動系

硬式野球部 男子バドミントン部
陸上競技部 女子バドミントン部
バスケットボール部 卓球部
男子バレーボール部 剣道部
女子バレーボール部 弓道部
男子テニス部 空手道部
女子テニス部 山岳部
サッカー部 女子ダンス部
ラグビー部 水泳部
ハンドボール部

学芸系

応援部 囲碁将棋部
新聞部 料理部
放送部 演劇部
インターナショナル部 文芸部
吹奏楽部 華道部
音楽部 書道部
写真部
科学部
美術部
JRC部

陸上競技部 令和3・4・5・6・7・8年度関東大会出場
男子バレーボール部 第73回全日本バレーボール選手権(春高バレー)出場
ハンドボール部(男子) 令和5年度関東大会出場
ハンドボール部(女子) 令和7年度関東大会出場
弓道部 令和3年度 団体: 関東男子団体出場・東日本男子団体出場
個人: 全国高校選抜男子個人出場
ラグビー部 令和6年度群馬県大会(7人制) 第3位
水泳部 令和7・8年度関東大会出場
放送部 令和3・4・5・7・8年度全国大会出場
吹奏楽部 令和5・6年度西関東大会出場
文芸部 令和6・7年度全国大会出場

充実した行事がたくさんあり、高校生活の貴重な瞬間を味わうことができます。

1学期

入学式
新入生歓迎会 部活動見学
AGENCY DAY①
生徒総会
蒼穹祭（文化祭）※体育祭と隔年開催
AGENCY DAY②
生徒会本部役員選挙



2学期

球技大会
オープンスクール
体育祭 ※蒼穹祭と隔年開催
AGENCY DAY③
修学旅行（2年）
探究型インターンシップ（1年）



3学期

スキー教室（1年）
探究成果発表会
卒業式



伊勢崎高校の進路状況と卒業生からのメッセージ。

卒業年度	令和7年度		令和6年度		令和5年度		令和4年度		令和3年度	
	合格数	進学数	合格数	進学数	合格数	進学数	合格数	進学数	合格数	進学数
国立大学	21	19	22	22	16	15	8	8	10	10
公立大学	35	32	27	26	30	28	40	38	13	12
私立大学	467	168	433	179	272	168	420	166	376	211
大学計	523	219	482	227	318	211	468	212	399	233
短期大学	6	6	17	12	13	12	13	11	23	19
専門学校など	26	25	47	43	22	21	42	39	52	47
就職	3		6		3		3		3	
進学努力継続、その他	13		19		23		7		15	

主な国立大 (過去5年間)

広島大学 群馬大学 新潟大学
弘前大学 宇都宮大学 信州大学
秋田大学 埼玉大学 山梨大学
山形大学 東京学芸大学 金沢大学
筑波大学 茨城大学 上越教育大学

東京都立大学 長岡造形大学
群馬県立女子大学 諏訪東京理科大学
前橋工科大学 長野大学
高崎経済大学 都留文科大学
群馬県立県民健康科学大学
秋田公立美術大学

主な私立大 (過去5年間)

上智大学 青山学院大学 立命館大学
中央大学 芝浦工業大学 東京理科大学
関西大学 明治学院大学 東京経済大学
武蔵大学 東京電機大学 大東文化大学
文教大学 東京農業大学 東京都市大学
女子美術大学

明治大学 学習院大学 立教大学
駒沢大学 東洋大学 獨協大学
日本大学 亜細亜大学 法政大学
専修大学 國學院大学 北里大学
成城大学 成蹊大学 武蔵野美術大学

高崎健康福祉大学 共愛学園前橋国際大学 群馬医療福祉大学 群馬パース大学 他

令和7年度卒業生からのメッセージ

赤石 覇成 さん

上智大学文学部新聞学科
太田市立南中出身



私は伊勢崎高校で素晴らしい3年間を過ごしました。高校3年間、私の情熱のほとんどは野球部に注がれていました。部活中心の日々を送り、仲間とは苦楽を共にしました。そんな仲間

たちは私にとって一生の財産です。しかし部活だけでなく文武両道を大切に、勉強にも真剣に取り組みました。定期テストの結果で一喜一憂し、課題や授業に全力で向き合う。当たり前のことを当たり前に続ける姿勢を身に付けられたのも、野球部での経験があったからです。部活を引退して、一転受験勉強中心の生活になり、仲間たちとそれぞれの目標に向かって努力した日々は最高の思い出です。当時はとても苦しかったですが、それを乗り越えたからこそ今があります。伊勢崎高校には何事にも挑戦できる環境があります。そしてそれは今になって気づいたことです。私自身もアメリカ留学という貴重な経験をさせていただきました。ぜひみなさんも1度きりの高校生活、失敗を恐れず全力で挑戦してください。応援しています。

島田 空跳 さん

筑波大学医学群看護学類
伊勢崎市立南中出身



皆さんは「正解の道」とは何かと思いますか。私は、失敗を恐れずに挑戦した先にある道だと思います。私が悔いのない3年間を過ごせたのは、伊勢崎高校だったからです。何よりも、

伊勢崎高校は探究活動をはじめとする課外活動に力を入れており、私もプロジェクトに参加しました。その中でも特に印象に残っているのが、OECD生徒教師サミットへの参加です。私はパリにあるOECD本部で、学校のウェルビーイングについて議論する機会をいただきました。そこで異文化に触れ、本当のコミュニケーションとは何かを学ぶことができました。このような貴重な経験ができたのは、伊勢崎高校だからこそだと思います。また、私は学校推薦型選抜で大学を受験しました。最初は志望校を高く設定することに不安がありましたが、今では挑戦して本当に良かったと心から思っています。伊勢崎高校には熱心な先生方が多く、勉強だけでなく、さまざまな入試制度についても親身になって相談に乗ってくださいました。私が第一志望校に合格できたのは、先生方や友人たちの支えがあったからです。皆さんも周囲の環境を大切にしながら、自分自身が「この道を選んで良かった」と思える道を歩んでください。

林 瞳 さん

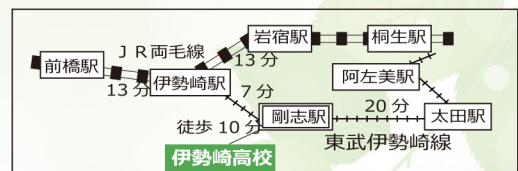
横浜市立大学 国際教養学部 国際教養学科
伊勢崎市立第四中出身



私は伊勢崎高校での3年間の高校生活を文武両道で貫きつつも存分に楽しみました。部活動は兼部で活動し、勉強は学校の図書館を活用し予習・復習を欠かしませんでした。探究活動で

興味や関心を持ったテーマを地域や海外の人たちと連携して掘り下げることができました。また、多種にわたる講演会や外部と連携した活動にも積極的に参加し、様々な分野にわたる視野を広げることができました。活動を通じて数字では表せない非認知能力面も高められ、進路実現につながりました。友だちと一緒にの修学旅行や体育祭、毎年恒例の球技大会などの学校行事でかけがえのない一生の思い出ができました。伊高の先生たちは本当に優しく、悩みを抱え相談したかったときは、いつも丁寧にそばで支え励ましてくれて、とても心強かったです。大学に行きたいという目標もそのような環境のおかげで最後まであきらめず後悔なく努力でき、達成できました。やりたいことがあれば励まし手助けしてくれる環境が伊高にはあると思います。多様な進路実現ができ、新しい制服や学校施設で充実した楽しい高校生活が待っています！応援しています！

伊勢崎高校周辺地図



〒372-0033 群馬県伊勢崎市南千木町 5239 番地 1
Tel : 0270-40-5005 Fax : 0270-21-7780